

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	生きがい活動通所支援事業費				
担 当 課 係 名	長寿子育て 課		長寿いきがい 係	作成者	武藤真利子
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	全ての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画の ページ
	基本計画	高齢者福祉と介護保険事業の充実			
	主要施策	高齢者介護予防の推進			54
予 算 費 目	一般 会計	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	6 目 多世代交流施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市高齢者生きがい通所事業実施規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内に在住するおおむね65歳以上の高齢者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	基本的生活習慣が欠如している高齢者に対して、仙北市多世代交流施設を活用し、生きがい感の高揚や高齢者が永年住み慣れた地域社会の中で引き続き生活できる状態を維持するため実施する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	・生活指導 ・機能訓練 ・健康状態の確認 ・入浴サービス ・送迎 パート職員6名がローテーションで事業を実施している。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	実施日数	日	180	163
		延べ利用者数	人	1,037	770
	成果指標				
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			5,165	674
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源		5,165	674
	人件費 (B)		—	785	807
		職員数	—	0.1	0.1
		職員平均人件費	—	7,853	8,071
	(A) + (B) 投下コスト		—	5,950	1,481
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	33,056	9,086
			—	5,738	1,923
	市民1人当たりのコスト(円)		—	187	47

【事務事業の今までの成果】

社会福祉協議会への委託から、市直営にしてパート職員で対応している。パートは地元の住民を雇用している。利用者へのサービス低下を招くことなく運営している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	開設当初は、介護予防補助金があったが、現在も今後も補助はなし。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	社会福祉協議会への委託でなくなったことから、19年度は様々な不安や苦情があったが、市直営の方針を理解して利用いただいている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	経費節減につながる方向を検討し委託から市直営に見直し、内容を大きく変えることなく事業運営している。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

介護保険で対応できる部分の確認。
施設を地域団体等に指定管理してもらう方法の検討。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	介護保険摘要部分の事業廃止を含めた見直しが必要と考える。(廃止部分は介護保険制度利用)

一次評価診断図

